



全世界を対象に 2020 年夏から順次切り替え 環境配慮型シューズボックスを導入



アシックスは、サステナビリティに配慮した取り組みの一環として、全世界を対象に、シューズボックスの仕様を全面的に見直し、環境に配慮したシューズボックスに 2020 年夏から順次切り替えます。対象は「アシックス」ブランド（一部を除く）で、これにより、CO2 の排出量が年間約 1200 トン削減できる見込みです。

今後は「オニツカタイガー」「ホグロフス」の両ブランドを含むすべての当社シューズを対象に切り替えを検討していきます。

○環境配慮型シューズボックスの概要

- ・ 100%再生紙を採用、紙の使用量を約 10%削減（当社従来比）
- ・ 水性インクを採用、インクの使用量を約 50%削減（当社従来比）

当社では、2030 年に向けた CO2 排出量削減目標を設定しており、サプライチェーンにおいて、製品あたりの CO2 排出量を 2015 年比 55%削減することを目指しています。本取り組みはその一環として実施するもので、ほかにも、2030 年までにシューズアッパー（甲皮）およびウエアに使用されるポリエステル材を 100%再生ポリエステル材に切り替えるという目標を設定するなど、さまざまな取り組みを行っています。

当社は、「私たちを取り巻く環境をまもり、世界の人々とその社会に貢献する」を企業理念の一つに掲げ、持続可能で公正なスポーツ用品業界の実現を目指す全てのビジネスパートナーとともに、社会と環境に配慮した事業活動を続けています。

今後も引き続き、事業のあらゆる場面でサステナビリティに配慮した取り組みを推進し、持続可能な社会の実現への貢献に努めます。

○アシックスの2030年に向けたCO2排出量削減目標について

<https://corp.asics.com/jp/csr/operation/co2>